

DOCUMENT Eye series 165

混合交通を観察する

信号機のある交差点において青信号で横断歩道を渡る歩行者と左折してくる車両を観察する 左折して横断中の歩行者に接近した車両172台中 歩行者を優先せずに通じた車両は50台

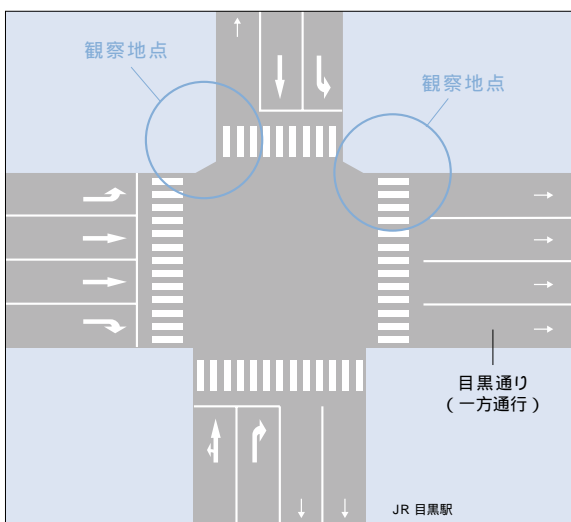
WHY

左折して横断歩道を横切る時のクルマの動きは？

信号機のある交差点で歩行者用信号機が青信号で横断歩道を渡っていた時、急に横から車が入り込んできてハッとした



写真上/横断歩道上に歩行者がいれば車両は一時停止を行なう
写真下/一時停止しているクルマを追い越して左折するケースもあった



観察場所 / 東京都品川区上大崎2丁目24付近
観察日 / 10月15日(水曜日)
天候 / 晴れ
観察時間 / 17:00 ~ 18:00
観察者 / 4名

WATCHING

横断する歩行者の隙間をぬって走る二輪車

観察場所は東京のJR目黒駅付近にある目黒通りの交差点。駅に近いので、歩行者の数は多く、帰宅する会社員に加えて子どもや高齢者も見られた。

観察の結果、1時間に歩行者用信号機が青になったのは2カ所で54回。横断中の歩行者に接近した車両は172台。このうち歩行者の直前を通過した車両が50台(二輪車16台・四輪車34台)。一方歩行者の横断を優先させた車両は122台(二輪車11台・四輪車111台)だった。観察地点の交差点では、「歩行者用信

なく、歩行者とクルマとの接触や巻き込み事故を起こしてしまっている。

歩行者が青信号で横断歩道を渡る際に、同じ交差点を左折する車両のドライバーは歩行者の保護を疎かにしていないか。夕暮れ、東京都内の駅に近い信号機のある交差点で、左折してくる車両と横断中の歩行者を観察してみた。

青信号で横断中の歩行者に接近した左折車両の行動について

	二輪車	四輪車	小計
歩行者を優先せずに通じた車両	16	34	50
歩行者を優先させて一時停止した車両	11	111	122
小計	27	145	172

電話やタバコを片手に左折していった車両もいた。
歩行者側では、歩行者用信号機が青点滅から赤になっても横断を開始する人が多かった。

PROPOSE

交差点を右左折する時は大きく顔を動かして確認を

歩行者用信号機は歩行者の安全確保のために設置されているのだが、青であっても、左折(右折)して横断歩道を横切るクルマがあることを、歩行者は知っておく必要がある。交差点内では歩行者とドライバーのコミュニケーションはほとんどないので、お互いがルールを遵守すべきである。歩行者は信号を守り、横断する歩行者がいる時、ドライバーは横断歩道の手前で一時停止する。そして、歩行者用信号機が赤になっても横断する歩行者がいることを予測して、ドライバーは歩行者の保護に取り組んでほしい。歩行者の横断を待つため一時停止している時に死角から走り込んでくる歩行者や自転車に対応するために、発進前にドライバーは目視だけでなく大きく顔を動かして安全確認することも重要である。



写真上/歩行者の前をさえぎるように通過する二輪車
写真下/歩行者の横断が終わるまで停止していた教習車両